

報道関係者各位

2012年9月13日
森ビル株式会社
アカデミーヒルズ事業部

六本木の街を舞台にアートと人が出会う
六本木アートカレッジ 10/8(月・祝)六本木ヒルズで開催
生駒芳子氏をメインファシリテーターに写真家から僧侶までアートを語る

森ビル株式会社が運営する社会人向け教育機関「アカデミーヒルズ」(理事長 竹中平蔵)は、10月8日(月・祝)に1日3,000円で23種類のアート関連講座を好きなだけ受講できる、1日限りのスペシャルイベント「六本木アートカレッジ」を開催します。

六本木アートカレッジ 3つのポイント

①1日3,000円で23講座から、自分だけの時間割を作り好きなだけ受講可能(詳細は別紙)

1本60分の講座を23講座開催。興味のある講座を選び、自分だけの時間割で受講できます。(事前にWebから申込が必要です)

②生駒芳子氏をモデレーターに迎え写真家から僧侶まで多様なジャンルのオピニオンリーダーが登壇

クロストークのモデレーターには生駒芳子氏を迎え、横尾忠則氏、篠山紀信氏、大宮エリー氏などと表現することをテーマに語ります。その他アーティストにとどまらず建築家、冒険家、僧侶、詩人、発明家、科学者など幅広い分野のオピニオンリーダー40名以上が登壇します。※タイムテーブルは別紙1を参照



生駒芳子氏

③アカデミーヒルズを飛び出し、六本木の街を舞台に人と人、人と街が交流

- ・当日500円で誰もが参加可能な「オープンカレッジ」を開催 @ヒルズカフェ&スペース
- ・アートカレッジ終了後は受講者やゲスト講師が「ナイトパーティ」で交流 @六本木農園
- ・5つのギャラリーが夜間特別オープンする「ナイトギャラリー」 @ピラミデビル

ビジネスパーソンを対象にアートを学ぶ機会の提供

六本木アートカレッジは、社会人向けに年間200本以上のプログラムを提供するアカデミーヒルズが、ビジネスパーソンを対象にわかりやすく、親しみやすい切り口で、「アート」について考える機会を提供するセミナーシリーズです。年に一度1日3000円で20以上の講座を受講し放題の「秋のワンデーカレッジ」の他、1回完結で年間約15本開催する「セミナーシリーズ」を開催しています。※詳細はP.5参照
都市で働く方々が「自分にとっての『アート』とは何か?」を、感じ、考える機会を作るとともに、アートを通じた街の活性化に貢献します。

【本件に関してのお問合せ先】

森ビル株式会社 広報室 深町

TEL : 03-6406-6606 FAX : 03-6406-9306 E-mail : koho@mori.co.jp

「六本木アートカレッジ～アートでエネルギーチャージ～」開催概要

- 開催日：2012年10月8日(月・祝) 10:00～18:30
- 場 所：アカデミーヒルズ(六本木ヒルズ森タワー49階)
- 参加費：3000円((全23講座を自由に選択受講))
- 申 込：Webサイトにて受付(<http://www.academyhills.com/school/artcollege/index.html>)
- 入場者：1000名程度 (Webサイトを通じて一般から募集)
- 主 催：アカデミーヒルズ
- 協 力：六本木アート・トライアングル(国立新美術館/サントリー美術館/森美術館)
- 協 賛：株式会社大林組
- 講 座：合計23講座開催予定。詳細は別紙1を参照

「六本木アートカレッジ」とは

今の時代を表現するキーワード、「グローバル化」そして、「ソーシャルメディア化」。この2つの現象により、国や社会、会社などの組織よりも、個人が力を持ち、個人が表舞台に立つパーソナルな時代がやってきます。パーソナルな時代に必要なのは、「自分の評価軸」、「自分の価値基準」を明確にすること、個人で判断し選択する力です。正に「自分らしく生きる」ことなのです。その「自分らしさ」を探し求めるためには、効率や経済性以外の別の価値基準を提供する可能性を秘めているアートに関心を持ち、毎日の生活にアートの視点、コンセプトを入れることが重要になってくるでしょう。また、アートは個人へ影響を与えるだけでなく、「ソフト・パワー」として、社会の価値や仕組みを変える大きな力へ発展もします。そのときに必須なのは、アートを提供する側(作品を創るアーティストやモノやコトを提供する企業など供給サイド)だけではなく、それに価値を見出す力を持つ個人(需要サイド)の存在です。

社会、経済、政治と密接な関係にあるアートの可能性は無限に広がり始める今、アートに触れ、アートの視点を持つことにより自分の軸を創り、自分らしく生きる個人を育む、それが「六本木アートカレッジ」の目的です。



アカデミーヒルズ 理事長
竹中 平蔵

【アカデミーヒルズとは <http://www.academyhills.com>】

森ビルは「世界的文化都心の創造」をビジョンに、街づくりに「都市を創る(ハード面)」と「都市を育む(ソフト面)」の両面から取り組んでいます。「都市を育む」取り組みの一つとして、森ビルが運営するアカデミーヒルズ(理事長 竹中平蔵 慶應義塾大学教授)は「自律的に自立する個人の支援」をミッションに、「Roppongi BIZ」「アーテリジェントスクール」などを運営する「スクール事業」、会員制図書館を運営する「ライブラリー事業」、貸しホール・貸会議室を運営する「フォーラム事業」の3つの機能を軸に、都市生活者に対して「知的活動の場」と「教育の機会」を提供しております。

【「六本木アート・トライアングル」とは】

「六本木アート・トライアングル」[略称:ATRo(あとろ)]は、六本木エリアの芸術文化活動の活性化を目指し、2006年9月にスタートしました。以来、3館を結ぶエリアを中心とし六本木のアート関連スポットを紹介する「六本木アート・トライアングル」マップ[通称:ATRo(あとろ)マップ]を継続的に制作、併せて、3館相互割引「あとろ割」を実施しています。また、2009年3月より「六本木アート・トライアングル」の活動を基軸と、東京都文化活動発信プロジェクトの一環として、六本木の街を上げての一夜限りのアートの祭典「六本木アートナイト」を開催、更に2011年11月にはアカデミーヒルズと共同で「六本木アートカレッジ」を実施し、約1,000名の参加者を集めました。

【別紙1】「六本木アートカレッジ」タイムテーブル

10:00-11:00 オープニングトーク : 大宮エリーの「言葉の力」

大宮エリー(作家 / 脚本家 など) × 生駒芳子(ファッション・ジャーナリスト/アート・プロデューサー)

11:20-12:20 ・JAXA 無重力空間では何が起こるの? ~芸術表現が魅せる「宇宙」の新たな可能性~

米林雄一(東京藝術大学名誉教授) × 逢坂卓郎(筑波大学教授) × 河口洋一郎(東京大学大学院教授)

・街はいったい誰がつくるのか? ~コミュニティがデザインする街づくり~

松田龍太郎(オアゾ代表) × 古田秘馬(プロジェクトデザイナー/umari 代表)

・メディア芸術祭 presents 「CALF: サバイバルの方法論」

CALF(大山慶/橋本新/水江未来/和田淳)

・森美術館「アートの冒険、旅する観客たち」

鴻池朋子(アーティスト) × 荒木夏実(森美術館キュレーター)

・2012年、上半期のアートニュース Top10 byAIT

ロジャー・マクドナルド × 塩見有子(NPO 法人アーツイニシアティヴトウキョウ)



生駒芳子氏

13:30-14:30 アフタヌーントーク : 現代を写す表現“写真力”とは何か

篠山紀信(写真家) × 他ゲスト × 生駒芳子

・JAXA 宇宙での文化を創造する! ~芸術表現が見せる「宇宙」の新たな可能性

高柳雄一(多摩六都科学館館長) × 内田まほろ(日本科学未来館展示開発課長)

× 小林智之(JAXA 宇宙環境利用センター)

・誤読

谷尻誠(建築家)

・64 カ国バイク弾丸ツーリングから見えた新世界

山田達也(冒険家) × 米倉誠一郎(一橋大学イノベーション研究センター教授)



大宮エリー氏

14:50-15:50 ・アートと社会のつながりを探る~箏の魅力 古典から現代そして世界へ~

竹中平蔵(アカデミーヒルズ理事長/慶應義塾大学教授) × 西陽子(箏奏者)

・“目覚め”の技術としての仏教

松本紹圭(僧侶)

・別れた恋人へのラブレターの書き方~恋愛感情を言葉に変える時~

菅原敏(詩人)

・国立新美術館 一足お先に、「アーティスト・ファイル 2013」展

西野華子(国立新美術館教育普及室長・主任研究員)

・今、お金儲け抜きにアートを考えると、こうなりませんか? by AIT

ロジャー・マクドナルド × 小澤慶介(NPO 法人アーツイニシアティヴトウキョウ)



篠山紀信氏



竹中平蔵氏 × 西陽子氏

16:10-17:10 ・暮しと仕事

松浦弥太郎(『暮らしの手帖』編集長/文筆家/書店店主)

・メディア芸術祭 presents オタマトーンができるまで

土佐信道(明和電機代表)

・つくることが生きること ~東日本大震災に見る絶望をエネルギーに変える力~

中村政人(3331 Arts Chiyoda 統括ディレクター/東京藝術大学准教授)

・サントリー美術館 場所の美術史-お伽草子絵・参詣曼荼羅を中心に-

上野友愛(サントリー美術館学芸員)

・『見えない』アートが増えている? -経済から考えるアートの最前線 by AIT

ロジャー・マクドナルド × 小澤慶介(NPO 法人アーツイニシアティヴトウキョウ)



松本紹圭氏



土佐信道氏



松浦弥太郎氏

17:30-18:30 エンディングトーク : 横尾忠則の「感性の宇宙」

横尾忠則(美術家) × 生駒芳子

※上記は一部変更の可能性があります。あらかじめご了承ください。



横尾忠則氏

【別紙2】アカデミーヒルズ以外で開催予定のコンテンツ

今年の六本木アートカレッジは、六本木ヒルズ森タワー49階にある「アカデミーヒルズ」を中心に、ヒルズカフェ&スペース、ピラミデビル、六本木農園など、六本木エリア内に場所を広げて連携しながら開催いたします。また、プログラムは六本木エリアの芸術文化活動の活性化を目指す「六本木アート・トライアングル」(国立新美術館/サントリー美術館/森美術館)の協力を受けて企画、まさに六本木一帯を巻き込んだ秋のアートイベントとなります。

1、当日 500 円で誰もが参加可能な「オープンカレッジ」を開催

六本木ヒルズ内「ヒルズカフェ&スペース」で「食文化」をテーマにセミナーを開催します。

- ①「野菜から広がる可能性～食から日本を元気に～」柿沢安耶(パティースリーポタジェ オーナーパティシエ)
- ②「日本のワインと地方食材とのマリアージュを楽しもう！/ワインの試飲付き」

つむぎや(フードユニット) × 奥村文絵(フードディレクター) × 生駒元(メルシャン株式会社)

× 高橋俊宏(「Discover Japan」編集長)

■日時: 10月8日(月・祝) ①11:15~12:00 ②12:15~13:00

■参加費: それぞれ 500 円(税込)

■対象者: どなたでも当日申し込み可能/アートカレッジ参加者は無料

2、アートカレッジ終了後は受講者やゲスト講師が「ナイトパーティ」で交流

受講生、ゲスト講師らが六本木の路地裏にあるレストラン「六本木農園」に集まり、「アートを学ぶこと、語ること」をきっかけに、人と人、人と街の交流を生み出す場になります。

■日時: 10月8日(月・祝) 19:00~21:00

■参加費: 2000 円(税込/立食・ワンドリンク&野菜のおつまみつき)

■対象者: アートカレッジ参加者およびゲスト講師

3、5つのギャラリーが「ナイトギャラリー」として夜間特別オープン

六本木ヒルズから六本木農園にいたる道程にあるビル「ピラミデ」は日本を代表する5つのギャラリーが集積しています。今回は六本木アートカレッジ開催に合わせ、通常は閉館している夜に特別に開館するほか、同じビル内の飲食店舗では参加者への優待も実施します。

■日時: 10月8日(月・祝) 18:00~21:00

■参加費: 無料

■対象者: どなたでも入場可能



【参考】六本木アートカレッジこれまでの活動

・2011年開催『六本木アートカレッジ～アートってこういうことだったのか～』

2011年11月23日(水・祝)初開催された、アートをテーマにした一日限りの秋の文化祭「六本木アートカレッジ」は、俳優の伊勢谷友介氏や中田英寿氏、栗林隆氏、会田誠氏などの講演のほか、休憩時には会場内でダンスパフォーマンスやサロンコンサートなども行われ、大盛況に終了いたしました。

1,000名分のチケットは完売し、参加者の75%はビジネスパーソンとなりました。参加者の大多数が複数講座に参加(一人当たり平均3.6講座)しており、さまざまな視点からアートに触れ、考え、楽しんでいただきました。

昨年の参加者の感想(抜粋)

- ・多ジャンルのゲストを休日に丸一日で回ることができ、普段残業でセミナーに参加できない人にはすばらしい日程だった。
- ・「アート」をさまざまな視点から切り取り、偏りのない講師陣だったと思う。
- ・ツイッターやブログの世の中ですが、きちんと正面で発言することの意味を再認識できました。
- ・ピラミデビルのギャラリーの存在を知らなかったので、連携して祝日にかかわらず開廊していただけてうれしかった。アートの街として活性化した六本木を感じられる一日だった。
- ・さまざまな価値観に触れることで、「アート」というものを以前より広く深く考えるようになった。「自分が正しいと思うことやりたいと思うことを楽しくやっている」方々の姿勢がとてもよい刺激になった。



・六本木アートカレッジ セミナーシリーズ (2012年4月～)

六本木アートカレッジのセミナーシリーズは、2012年4月よりスタート。社会人を対象に年間200本以上のプログラムを提供するアカデミーヒルズが、アートには無縁のビジネスパーソンにもわかりやすく、親しみやすい切り口で、日本のソフト・パワーとしての「アート」について考える機会の提供をめざし、8月末までで11本、延べ2000名が参加しています。

[開催済イベント(抜粋)]

- 4月26日(木)「感動する力～アートを感じる・アートを考える」
姜尚中(東京大学大学院情報学環 現代韓国研究センター長)
竹中平蔵(アカデミーヒルズ理事長/慶應義塾大学教授)
- 6月18日(月)池上彰が紐解く、アラブの今と未来
池上彰(ジャーナリスト/中東調査会会員/東京工業大学教授)
- 8月06日(月)坂本龍一×岩井俊二が語る、映画音楽の魅力
坂本龍一(音楽家) 岩井俊二(映画監督)

他、合計11講座をすでに開催。今後も2013年3月まで月1～2本のペースで開催予定です。

